

考えよう 人権の大切さ

豊岡市が実施している「人権」に関する教育・啓発活動に対して、効果を検証し、「一人一人を尊重するまちづくり」に向けた取組みをさらに充実・発展させるため、2021年度に「豊岡市人権に関する市民意識・実態調査」を実施しました。

この調査の中から「人権意識について」たずねた回答結果の一部をご紹介します。



全体の調査結果はこちら→

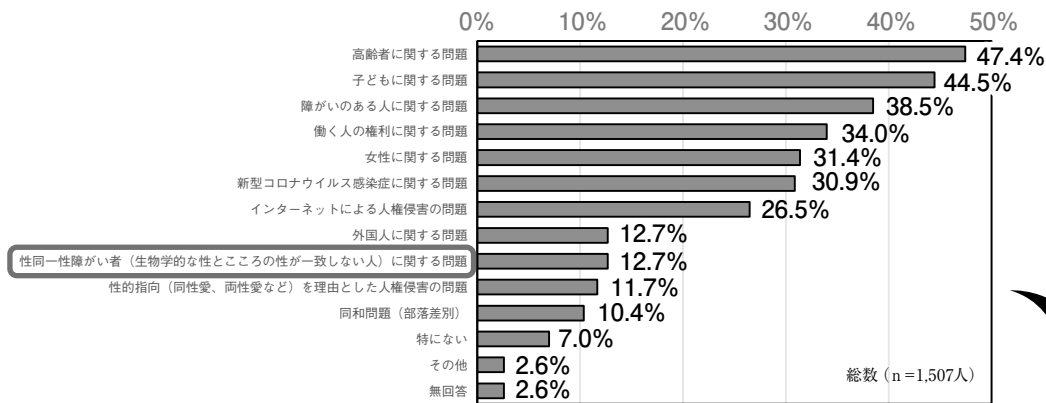
～「豊岡市人権に関する市民意識・実態調査」から～

(問) あなたは、豊岡市において、いま以上に取り組むべき人権問題は何だと思いませんか。
(あてはまるもの、すべてに〇)

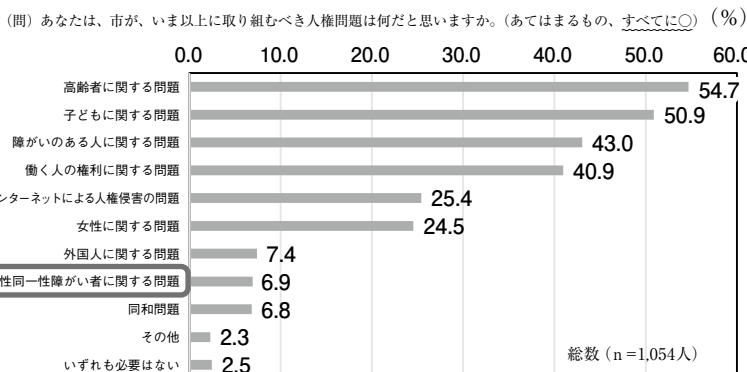
2016年度調査に引き続き調査しました。回答項目に「性的指向（同性愛、両性愛など）を理由とした人権侵害の問題」、「新型コロナウイルス感染症に関する問題」を追加しました。

「高齢者に関する問題」（47.4%）、「子どもに関する問題」（44.5%）、「障がいのある人に関する問題」（38.5%）、「働く人の権利に関する問題」（34.0%）、「女性に関する問題」（31.4%）、「新型コロナウイルス感染症に関する問題」（30.9%）が上位になりました。

これらの上位の項目は、2016年度調査と同様に高い割合でしたが、「性同一性障がい者（生物学的な性ところの性が一致しない人）に関する問題」については12.7%であり2016年度調査結果の6.9%と比較して高くなっています。また、年齢別にみると18～29歳の22.4%がいま以上に取り組むべき人権問題だと回答しており、若い世代の関心が高いことがわかりました。



《参考》2016 年度調査結果

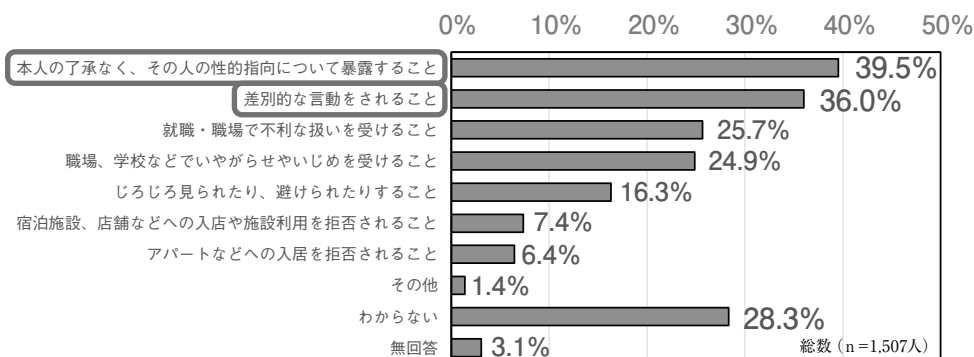


年齢別集計

年齢	性的指向（同性愛、両性愛など）を理由とした人権侵害の問題 (%)	性同一性障がい者（生物学的な性ところの性が一致しない人）に関する問題 (%)
18～29歳	20.5%	22.4%
30～39歳	17.1%	16.6%
40～49歳	12.6%	14.6%
50～59歳	11.5%	13.0%
60～69歳	8.6%	10.3%
70歳以上	6.8%	6.8%
無回答	10.8%	10.8%
全体	11.7%	12.7%

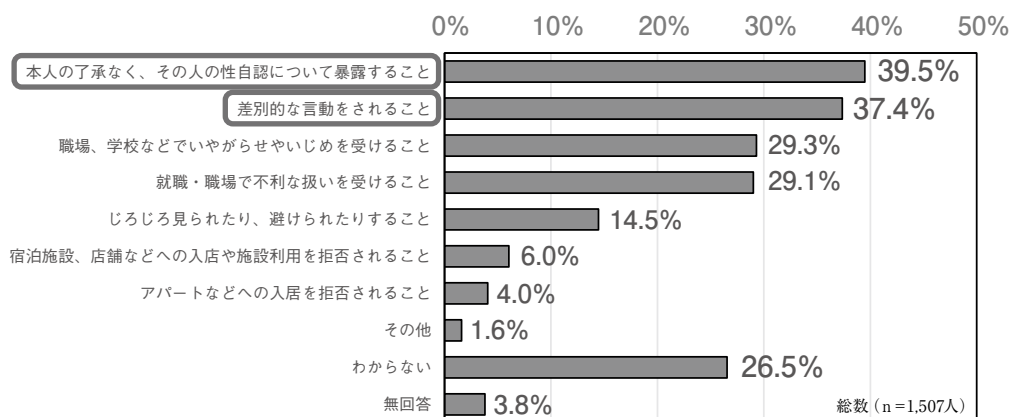
(問) 同性愛、両性愛といった性的指向に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

「本人の了承なく、その人の性的指向について暴露すること」(39.5%)、「差別的な言動をされること」(36.0%)が上位になりました。一方で、「わからない」(28.3%)が多くありました。



(問) 生物学的な性とところの性が一致しない性同一性障がい者に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

「本人の了承なく、その人の性自認について暴露すること」(39.5%)、「差別的な言動をされること」(37.4%)が上位になりました。一方で、「わからない」(26.5%)が多くありました。



豊岡市において、取り組むべき人権問題が多くありますが、今回の調査で「性同一性障がい者（生物学的な性とところの性が一致しない人）に関する問題」、「性的指向（同性愛、両性愛など）を理由とした人権侵害の問題」について、若い世代の関心が高まっていることがわかりました。また、人権上、「本人の了承なく、その人の性自認について暴露すること」、「差別的な言動をされること」が特に問題であるとした回答割合が高くなっています。正しい知識を身につけ、理解を深めていくことが大切です。

豊岡市では、多様な性のあり方について考え、正しい知識と理解を広めるための啓発活動に努めます。

相談窓口
※詳細は6ページへ



8/26 (土)
イベント開催
※詳細は8ページへ